

無錫から世界へ、コニカミノルタの明日を担う生産拠点が誕生

情報機器事業の成長を牽引するカラー複合機「bizhub C450」。その主力生産会社であるコニカミノルタビジネステクノロジーズ（無錫）有限公司（BMW）が2005年9月、稼働を開始しました。世界でも重要な生産拠点となる中国で、BMWは一体どのようにして立ち上がったのか。その軌跡をたどります。



カラー複合機「bizhub C450」



カラー複合機（多機能複写機）の 主力生産拠点として設立

上海から西へ約130km、長江三角洲の中心部に位置する江蘇省・無錫（むしゃく）市。3,000年もの長い歴史を持つこの都市は、中国で4番目に大きい湖「太湖」に臨む中国有数の観光地です。近年では、日系企業をはじめとする外資を積極的に誘致しており、まさに急速な発展を遂げる中国を象徴する都市でもあります。

コニカミノルタは、今後の複合機事業の生産能力を増強するために、2004年12月、この由緒ある地にグローバルな生産拠点としてコニカミノルタビジネステクノロジーズ（無錫）有限公司（BMW X）を設立。それからわずか1年で、BMW Xはカラー複合機「bizhub C450」を生産・出荷するまでに至りました。しかし、必ずしも順風満帆にここまでたどり着いたわけではありません。そこには、様々な関係者の語り尽くせぬ苦労がありました。

スピードを重視しながら、プロジェクトは進行

BMW Xの立ち上げには、事業戦略上、時間的な制約がありました。そのため、立地の事前調査から工場の建設・稼働、そして生産まで、すべてのステージで「スピード」が要求されました。

「立地の決め手となったのは、無錫市政府の熱心な誘致活動です。私たちのニーズにあったきめ細かいサービスを、無錫市政府から提供していただけたことも大きな要因です」と、黒岩総経理は当時を振り返ります。

2005年2月の寒風吹きすさぶ起工式から、わずか4カ月で建物の骨組みが完成。そして9月には生産準備に入り、10月には記念すべき第1号機が完成しました。

「驚異的な早さでここまで達成できたのは、現地政府の強力な支援や、タイトなスケジュールにもかかわらず工事を進めてくれた、地元建設業者の惜しみない協力があったからです。もちろん、必死に業務に取り組んだ社員の姿は、決して忘れられませんね」（伊藤副総経理）

こうしてBMW Xは12月、盛大なオープニングセレモニーを開催し、無錫の地に新たな一歩を築きました。



上棟式



建設中の現場



無錫市との調印式



技術研修



組立行程

企業市民として社会的責任を果たす

スピードと同様に、品質管理とCSR（企業の社会的責任）も重視しています。建設前には入念な地質調査や環境アセスメントを実施。工場稼働後は、無錫市の環境保全規則に従い、今後のゼロエミッション達成を目指して、ゴミの分別処理などを行っています。

BMWXの特長の1つは、その最新設備にあります。例えば、エネルギー源は基本的に電気を使用し、NOx（窒素酸化物）やSOx（硫黄酸化物）の排出を抑制しています。また、オゾン層の破壊と地球温暖化を防ぐため、フロンを使用しない空調設備を導入。射出成形時に冷却水を使用する代わりに、省エネタイプの冷却装置も設置しています。このほかにも、世界中の各拠点と迅速にコミュニケーションを図れるよう最新のIT環境を整備しており、まさに最新のノウハウを結集した生産拠点といえます。

BMWXでは高品質で安全な製品をお客様に提供するとともに、環境保全にも積極的に取り組むため、稼働後間もない2005年12月、品質マネジメントシステム「ISO9001」と、環境マネジメントシステム「ISO14001」の認証を同時に取得しました。

また、地域社会との円滑なコミュニケーションを図るため、中国政府関係者などの工場視察を積極的に受け入れ、情報を提供しています。今後は冊子などの配布に加えて、ホームページでの情報公開を予定しています。

人材育成が今後の鍵

企業にとって「人」は重要な財産です。大屋人事総務部部长は、社員の採用について次のように語ります。「新会社なので、即戦力となる人材を中心に、インターネットなどを使って一般公募を行いました。もちろん、選考時には年齢や性別などによる差別は一切なく、能力や経験で判断しました」BMWXでは地域社会に貢献するため、積極的に地元出身者の採用に努めた結果、無錫市とその周辺地域で約320人の雇用を創出。これは正社員の約90%にあたります。採用した社員に対しては、入社時にコンプライアンス教育をはじめとする新入社員教育を実施しています。また、複合機については全員未経験者なので、研修だけでなく専門の技術者による現場での指導を行うなど、品質管理に関する技能伝承にも力を入れています。

「最も重要なのは『人づくり』ですね。今後は業務品質をさらに高め、現地の部品メーカーに



BMWXサッカー部の試合を応援

技術指導していくためにも、できるだけ早く管理職のローカル化も進めていかなければなりません」と、伊藤副総経理は人材育成の重要性を強調します。

また、BMWXでは無錫市政府に早期組合設立支援を依頼し、2006年3月に労働組合が設立されました。BMWXは組合機関との協調を通じて、福利厚生面の充実だけでなく、社員の意見に耳を傾け、お互いを理解し、社員を尊重した職場づくりを心がけています。

BMWXの立ち上げに尽力していただいた無錫市政府、時には考え方の違いから白熱した議論を戦わせた地元の建設業者の方々。そして慣れない複合機と毎日格闘した社員など、様々な関係者の熱い想いと希望を乗せて、BMWXの航海は今後も続いていきます。



1号機完成式



従業員ミーティング



コニカミノルタビジネステクノロジーズ（無錫）有限公司の概要

設立：2004年12月

従業員数：918名（2006年3月現在）

敷地面積：132,000m²